

領内出張所だより

92

雪化粧

冬の趣き

平成30年
(2018年)



備蓄品を持ち出す

普段から備蓄してあるものを持ち出すために、世の中には様々な「非常持ち出し袋」が売られています。宮川村の時にはシルバーのリュック型のものが各世帯に支給されました。現在でも多くのみなさんがこの持ち出し袋と一緒に避難することを前提に準備されていると思います。



ひもで背負うタイプ

幅の広いバンドで背負うタイプ

しかしながら、入れっぱなしにしていると中身が見えないので何を用意したかわからなくなってしまうかもしれません。いざ袋を開けてみて、「使えなかった」や「食べられなかった」ばかりが詰まっていたりしたら準備した労が報われません。やるなら“がっかりしない”備蓄を目指しましょう。

今までやっていたことに加えて簡単に出来るのは、定期的に中身を確認することです。そうすることで備蓄しているもの、つまり持ち出そうとしているものがこれでいいのかをその都度考える機会が出来ます。

例えば、台風の季節に準備したまま入れっぱなしにしておくと、今の寒い季節にすぐわなないものが入っていたりする可能性があります。季節ごとに必要なものは違ってくるはずです。夏の暑さの中にいる私たちは使い捨てカイロなど考えないで過ごしているので、備蓄にも“冬じたく”を整えてあげないと安心を得ることが出来ません。

四季を通じて必要なものだけに“持ち出す”ものを限定してしまうというのも有効かもしれませんが、リュック型の持ち出し袋は欲張ってもさほどたくさんは入りません。タオル類・衣類を入れるだけでも膨らんでしまって・・・避難の際に“がっかりしない”ように、まず何を入れておくか、よくよく吟味しておきたいものです。そして、その上で時節に応じた必要なものを袋へ追加して持ち出す、ということになります。これが世帯分となると備蓄の量に見合った持ち出し袋がしっかり用意されているかが大切になってきます。

そなえ たくわえる
備蓄 6 つのこと



『持ち出し袋』はリュック型だけじゃない



備蓄した量をすべて持ち出す訳ではない



備蓄の全部を世帯唯一の非常持ち出し袋に託すのは無謀な話です。各自ひとつずつ背負っても持ち出したい量を運べないこともあるかも知れません。リュック型は基本ひとつしか背負えないので、場合によってはアウトドアメーカーから出ているような容量の大きい、たくさん入るものを背負うように準備しておきます。



フタを被せるようなタイプ
防雨にもなり取り出しやすい



防水性の高いタイプ
登山用なので背負いやすい

リュック型の良いところは、両手が塞がらずにものを運べることです。なので持ち出す量が袋ひとつ分で済むのであれば、背負うだけにするのが望ましいでしょう。でも、あまり容量が大きいと今度は移動が大変になります。量を欲張ってもさほどたくさん使いません。必要とするものを適量持ち出すのが肝要です。

持ち出し袋としてリュック型以外に便利なのは、トートバック、スポーツやおけいこなどに使われているバッグが挙げられます。レジかごバックなども丈夫で、肩に掛けたら腕の負担が無いように工夫されているものがおすすめです。

持ち出す袋はリュック型を背負い、肩か片手にもうひとつまでといったところでしょうか。備蓄は何袋でも持ち出しやすいように準備しておけば、後から役に立つものです。



スイミングバッグ



レジかごバック



買い物トート



備蓄した中から持ち出す分を区別し
それに合った持ち出し袋を選び用意する



次号は『情報』についてのお話です。



忘れないでね！

今月の備忘録

住民税申告と所得税の確定申告
の時期が近づいてきました！

申告が必要な方は準備をはじめましょう！

申告会場は下記のとおりです。

確定申告

2月16日（金）～3月15日（木）

土日を除く 午前9時～午後5時



- 役場本庁および宮川総合支所
- 松阪商工会議所 1階大ホール
(三重県松阪庁舎の隣)

住民税申告

住民税申告が必要と思われる方には、2月上旬
に税務課から自宅に申告書が郵送されてきます。

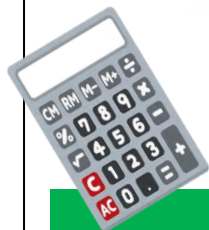
住民税申告については地区別に会場が設けられています。

領内地区の方の会場は **領内地域総合センター** です。

2月9日（金）午前9時～11時30分

期間中は混雑する場合があります。ご協力をお願いします。

なお、当日は年金収入のみの方の確定申告も受付します。



問い合わせ：役場税務課 82-3784

おんがわ

新年明けましておめでとう
ございます。今年も一年間お
世話になります。

平昌オリンピックがまもなく開催になります。日本勢の活躍に期待しながらも、日本で初開催となる来年のラグビーワールドカップのほうに気持ちは傾いていたりします。その翌年には東京にオリンピックがやってきて、さらに次の年は三重で国体が開かれます。大台町はボート競技の会場として予定されていて、若い競技者が熱を入れて取り組んでいるようで頼もしい限りです。地元の手が活躍すると誰しも自身のことのように嬉しくなるのではないのでしょうか。私も会社勤務時代の先輩の子供がプロ野球に入って活躍し、前代未聞の記録を打ち立てた時にはとても嬉しかったのを覚えています。何かの後押しされることで気持ち良くて清々しいのは、やっぱりスポーツが筆頭ですね。